

88個の鍵盤を目の前に、ピアニストは何をしているのか？ピアノ演奏の秘密が今解き明かされる…

ピアニスト吉永哲道のスクール・オブ・ピアノ

〈ピアノの学校〉



五時間目

「調律師さんに聞く、響きの秘密！」

～あなたにはピアノとピアニストの対話が聞こえますか～

五時間目は再び調律師の更家雅之さんをお迎えし、ピアノの構造やアクションの仕組み等、前回（二時間目 2024年6月21日実施）の内容の復習と、響きの性質を決定づけると言っても過言ではない「倍音」について、ピアノを使いながらお話いただきます。今回もこのレクチャーだからこそお聞きになれる興味深いお話が、盛り沢山になると思います。皆様のご来場をお待ちしております！ 吉永哲道

出演：吉永哲道（ピアノ）

演奏予定曲/D.シヨスタコーヴィチ：プレリュードとフーガ第4番 短調（24のプレリュードとフーガ op.87より）

ゲスト：更家雅之氏（調律師）

1978年、愛知県豊田市生まれ岡崎市育ち。絵を描く事が好きな少年時代を過ごし小中では校内で賞を受ける。高校在学時には brass band 部でトランペットに没頭し、この頃ピアノも習い始める。卒業後、名古屋市内楽器技術専門学校に入学。ピアノ調律を学ぶ。卒業研修旅行ではヨーロッパピアノ工場を見学（レンナー社、ベーゼンドルファー社）、ドイツ・フランクフルトで開催されていた楽器フェア（ムジークメッセ）を視察する。卒業後名古屋市内ピアノ調律専門店入社。主に終日工房にこもり修理技術を学ぶ。入社後まもなく世界的ピアノメーカー、スタインウェイ&サンズの特約店になりドイツからのトップチューナーの講義など受講する機会に恵まれる。2006年に満を持して独立開業。東海地方を中心とし全国的に活動中。常にアンテナを張りピアノの本場であるヨーロッパのみならず世界中の楽器関係者、技術者、演奏家と交流を深め、心を豊かにする事を目標に美しい音を創る努力の日々を送っている。

2025年3月7日（金）14:00開演（13:45開場）

*70分～80分程度を予定しています

カンマーザール in 立川 4階 〈受講料〉全席自由 ¥1,500

〈主催〉音楽企画「マイスキーヴェーチェル」

〈後援〉認定NPO法人おんがくの共同作業場

〈チケット取扱い〉認定NPO法人おんがくの共同作業場

<http://www.gmaweb.net/npo/>

Tel:042-522-3943

音楽企画「マイスキーヴェーチェル」

e-mail : mv-pro@live.jp



このQRコードから一時間目のダイジェスト版がご覧になれます（約14分）無線LANまたは通信無制限のご契約以外の場合はご視聴に通信料がかかる場合がございますのでご注意ください。



ピアニスト 吉永哲道 スクール・オブ・ピアノ これまでの授業内容



これまでの授業内容を、チラシの紹介掲載文よりご紹介致します

〈会場〉カンマーザール in 立川 4階 〈開演〉14:00 〈受講料〉全席自由 ¥1,500

一時間目 2024年3月8日(金) 「ピアノとピアニストの対話が聞こえますか」

吉永氏は自分が思い描く音楽を一体どうやってピアノに伝えているのか？ピアノとの対話が聞ける一時間。演奏と演奏法、そして音色の作り方 etc..トークと演奏を交えて吉永氏が解説いたします。

〈演奏曲〉J.S.バッハ：トッカータとフーガ二短調 BWV565 (T.ニコラーエヴァ編曲)

二時間目 2024年6月21日(金) 「調律師さんに聞いてみよう！」

一時間目は演奏者の立場からのピアノの講義でしたが、二時間目は楽器の構造に詳しい調律師さんとの授業をお送りします。また、現代のピアノの可能性を最大限駆使し作曲をしたラフマニノフについて取り上げます。

ゲスト：更家雅之氏（調律師）

〈演奏曲〉S.ラフマニノフ：前奏曲嬰八短調 op.3-2（通称「鐘」）



三時間目 2024年8月2日(金) 「ピアニストのレッスンを覗いてみよう！」

三時間目は、ピアニストのレッスンを聴講いただきます。ラフマニノフとスクリャービンの作品を題材に、19世紀末から20世紀初頭の革命前夜のロシアを生きた二人の作曲家の、各々の個性に切り込みます。ゲストピアニストの白川媛葉さんには、最後に、レッスン曲及びスクリャービンの音楽に触発されて作曲された山田耕筰の作品を演奏いただきます。

ゲスト：白川媛葉（ピアニスト）

〈演奏曲〉S.ラフマニノフ：プレリュード 口短調 op.32-10
A.スクリャービン：エチュード 変イ長調 op.8-8
山田耕筰：スクリャービンに捧ぐる曲より“忘れ難きモスコの夜”



四時間目 2024年11月22日(金)

「恩師を語る ～ヴェーラ・ゴルノスターエヴァ先生のこと～」

『1990年の春、後の私の人生にとって重要な出会いがありました。モスクワ国立音楽院の教授でいらっしゃったヴェーラ・ゴルノスターエヴァ先生。私は幸運にも、その出会いから8年間日本で、その後モスクワにて10年間、先生の薫陶を受けることができました。四時間目は恩師であるヴェーラ先生のことを、昔の日本のレッスン映像などもご覧いただきながら、お話を致します。私の演奏の原点をたどる時間になると思います。』

〈演奏曲〉W.A.モーツァルト：ピアノソナタ八長調 KV330

